平成27年10月19日発行

Araki Homevisit Rehabilitation

荒木訪問リハビリ通信

第6号

広島県地域リハビリテーション広域支援センター
医療法人光臨会　荒木脳神経外科病院
荒木訪問リハビリテーション
〒733-0821　広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL　082-527-1123
FAX　082-527-1127

ご挨拶

秋晴の候、秋風が気持ちのいい季節になりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて秋といえば、食欲、芸術、スポーツなどと言われていますが、今月は野球で一喜一憂し、ラグビーは歴史的快挙を成し遂げ、スポーツで大きな盛り上がりをみせた月ではなかったでしょうか。
この度の広報誌では、片手でも出来る生活の知恵を載せています。ぜひ皆様からも普段工夫されている生活の知恵について教えて頂けたらと思います。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

リハビリテーション部　中村　翔

俳句

冬支度
赤ヘル熱は
冷え切らず

秋さんま
この時期だけの
お楽しみ

柿食って
鳴るのはブーブー
警告音

カープファン
ため息まじり
秋の空

バッティングセンターに行きました

右片麻痺で失語症のあるU様。

「バッティングセンターに行きたい。」

この一言がきっかけで、計画が始まりました。

まずは棒とゴムボールで練習！

握りを強くするため包帯で固定！

いざバッティングセンターへ！

終了後にはとっても素敵な笑顔を見せて下さいました。
次は「映画館でスター・ウォーズが見たい。」との希望があるため、実行に向けて計画を立てています。

実際にやってみました

今回は身の回りにあるものや、手軽に手に入るアイテムを使って、ちょっとした生活の工夫を実際にやってみました。

片手でサランラップ

①滑り止めを置き、その上にお皿とラップを置きます。
ラップは上の図のように横に倒し、口を開けておくと引っ張りやすかったです。

②ラップを十分な長さ引っ張ります。
少し右斜め上方向へ引っ張ると、スムーズに引っ張れました。

③ラップの端をお皿の下に敷きます。

④ラップを切ります。
しっかり傾けて、端からペリペリと切ると切りやすかったです。

お皿や食材の重みと滑り止めで固定されて、ラップが片手でも切れました。大きめのお椀でも出来ましたよ☆

しかし高さのある食器や、プラスチックなどの軽い食器では、食器が傾きやすく難しかったです。

そんなときには、こんな便利グッズを使ってみるのもいいですね♪

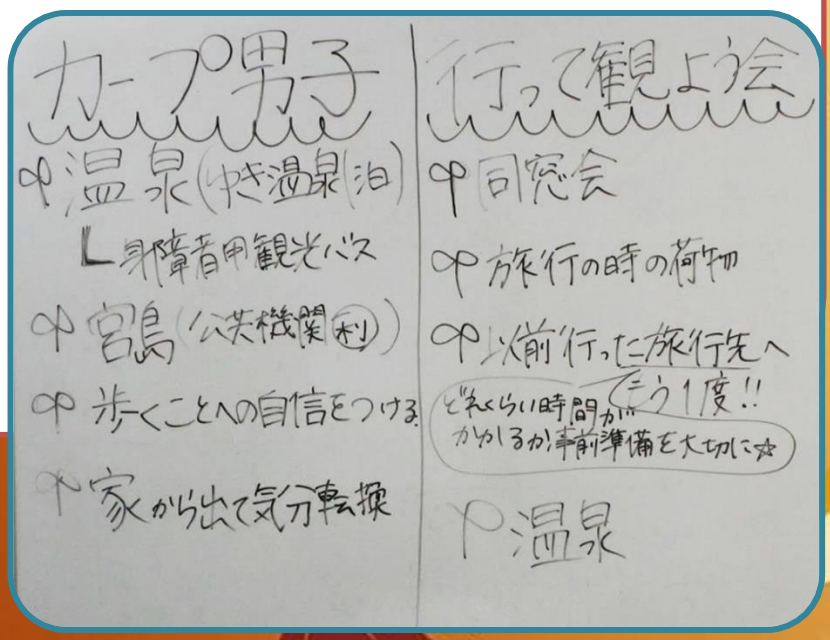
ダイソーで購入

みなさんの工夫も是非教えてくださいね

集いのサロンが開催されました

当院では皆様の主体的な交流の場である、「集いのサロン」の開催に協力させて頂いております。第3回となった今回は、「私の行ってみたいところ！」というテーマで開催されました。

「障害があるから〇〇へ行けない。」ではなく、「〇〇へ行きたい！行くためにはどういった工夫が必要か。」といった前向きな意見が多く、皆様で知恵を絞りながら目標や悩みを共有されていました。



リハビリテーション・ケア合同研究大会　神戸2015

演題：「ロック好きな片麻痺者のライブ参加に向けた訪問リハビリテーションの取り組み」

発表：中村　翔

この学会は療法士以外にも、医師や看護師、介護士など多職種が参加する学会です。多くの方と情報交換を図ることができて、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後も多職種と連携をとって、その人らしい暮らしを支えていけるように日々精進していきたいと思います。